

# くらみ 里山留学

## かわら版

2021年12月発行

第  
2  
号

くらみ里山留学実行委員会 かわら版編集部です！！

去る10月27日（水）に、「みんなで考えよう！くらみ里山留学」という内容でワークショップを開催しました。平日夜の開催でしたが、約20名の皆さんにお集まりいただき、自分の考える里山留学、そして人が思う里山留学について、理解を深めました。

かわら版編集部

掛川市倉真 3808-1  
倉真地域生涯学習センター  
倉真地区まちづくり協議会内  
くらみ里山留学実行委員会  
電話：(0537) 29-1252  
メール：kurami@ace.ocn.ne.jp

### ワークショップ「みんなで考えよう！くらみ里山留学」

日時：令和3年10月27日（水）19時～21時 @倉真地域生涯学習センター

テーマ：倉真で里山留学って！出来るの？「どうする？こうする 里山留学」

～倉真でするなら、どんな留学を提供できるのか～

ワールドカフェ方式（グループに分かれて、リラックスした雰囲気の中、アイデアを出し合う方式）

3グループ、5人ずつにわかれて  
小テーマにそって話し合いました。

※ 皆さんからの意見、ほんの一部をご紹介します

#### A：里山留学って、結局なに？

- ・やる目的はなに？人口増加なの？それとも廃校阻止？
- ・何をもって、成功といえるの？
- ・受け入れる側・来る側、互いの刺激になるよね
- ・地域活性化の一翼となるし、一丸となるよね
- ・誰にメリットがあることなの？ 他



#### B：里山留学の良い影響はなに？

- ・子どもの人数（全体人口）が増える
- ・倉真小児の競争心が強くなりそう
- ・外の世界を感じ、内の世界を認め直す機会にもなるね
- ・地域住民が誇りを持ち、話題が増えるね
- ・地域の経済効果が上がるね 他

#### C：里山留学の負の影響はなに？

- ・どういう留学生が来るのか不安だな
- ・留学生に対し、気疲れしそうだ
- ・倉真の子が、いつも外遊びしているわけではなく、ゲームだってするし、現実と理想のギャップがあるよ
- ・地域の人への完全なる理解は難しいと思う
- ・資金面はどうするの？ 他



地域にとってのメリットや心配・不安な事、沢山出し合いました。

出し合うことで、問題を共有し、解決策や妥協案を考える機会へと繋がります。まだまだ全てに答えを出すことはできませんが、急がずじっくりと地域の方々と理解浸透をはかっていきたいと思えます。倉真は、世代を超え議論し合う仕組みが作られていると強く感じました。素晴らしいことだと思います！！

ワークショップはこれからも続けていきます！



# お知らせ

## くらみ里山留学 地域見学会

里山生活に興味あるご家庭に地域を見学してもらうイベントです。小学校のお子さんと保護者が県内より訪れます。倉真小の児童（希望者）と交流をはかるワークショップを開催します♪

令和3年12月11日（土）11時～15時30分 場所：倉真地域生涯学習センター

地元でとれた綿や竹を使って、ミニ門松やリースを作ります。

見学自由です。ご興味のある方は、13時～15時のワークショップをご覧くださいませ。



### 里山留学をやることになったら 子どもだけでくるの？親子でくるの？



受入れ形態には、三種類あります。

#### ■ホームステイ方式（里親）

子どもだけ転居～転校し、地域住民家族の一員として生活する。

#### ■センター方式（寮）

子どもだけ転居～転校し、地域内のセンター（寮施設）で共同生活する。

#### ■親子留学または孫戻し

親と一緒に転居、または地域に住む祖父母や親せき宅で生活する。



子どもだけでくるのが打ち解けやすい？

親子でくるほうが安心？

一口に里山留学と言っても、受け入れる形はさまざまですね。くらみ里山留学はどの形で受け入れるかまだ決まっていません。

倉真の地域性や倉真ではどんな受入れ形態ができるのかなど、住民のみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。



★みなさんから、里山留学にかかわる質問、

なんでも受付ます♪★

疑問に思ったことはぜひ、お問合せください

メール：kurami@ace.ocn.ne.jp

見てわかる♪

## しずおか里山留学

しずおか里山留学



市の考える「公共施設再配置（案）」によると、未来十数年後には倉真小は今の場所からなくなってしまうことが予想されます。老朽化する建物を維持管理していくには、多額の維持費がかかるのですから、やむを得ないと言えるでしょう。

でも、地域から小学校がなくなると、それに伴い、子育て世代の流出が安易に予想され、行く行くは今以上の人口減少や地区の衰退が懸念されます。

そんな折、里山留学の話が持ち上がりました。

倉真で里山留学を受け入れることができるのなら、例えば学校がなくても、自然豊かな環境で子育てしたい家庭が移り住んでくれるかもしれません。空き家対策の一助にもなるかもしれないし、もしかしたら、倉真小の跡地を、里山留学受入れ施設として活用できるかもしれません。入ってくる子ども達がいれば、出て行く人も抑えられるのではないかと考えました。入ってくる人、受け入れる側の私たち、相互にシナジー効果がもたらされるよう願っています。それには、地域の方のご理解・ご協力が不可欠だと考えます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

倉真小を考える会 原田 淳子



### 11月・12月のスケジュール

#### 11月

- 12日（日）県への中間評価報告（リモート会議）
- 16日（火）県と事業変更協議
- 19日（金）実行委員会幹事会会議
- 29日（月）第2回くらみ里山留学実行委員会

#### 12月

- 初旬 実行委員会幹事会着
- 11日（土）一日地域見学会
- 中旬 実行委員会幹事会会議
- 以降 第2回ワークショップ開催予定

